

令和 9 年 度 学 生 募 集 要 項

選 抜 日 程

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
在籍学校長の 推薦による選抜	WEB出願登録受付期間 令和8年12月7日(月)～ 令和9年1月5日(火)	令和9年1月16日(土)	令和9年1月21日(木)
	出願書類受付期間 令和8年12月22日(火)～ 令和9年1月5日(火)		
学力検査による 選抜	WEB出願登録受付期間 令和9年1月6日(水)～ 令和9年1月25日(月)	令和9年2月14日(日)	令和9年2月22日(月)
	出願書類受付期間 令和9年1月19日(火)～ 令和9年1月25日(月)		



独立行政法人国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104

電話 0235-25-9247・9025

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

目 次

○ 学生募集要項

I	入学者選抜の基本方針	1
II	募集学科及び募集人員	2
III	コース／系の選択	2
IV	選抜方法	3
V	出願の流れについて	4
VI	推薦による入学者の選抜	5
1	出願資格	5
2	出願手続	5
3	出願に関する留意事項	6
4	出願状況	7
5	受験票について	7
6	選抜の方法	7
7	面接の日時及び会場	8
8	選抜結果の通知	8
9	入学確約書の提出	8
10	推薦による選抜に不合格となった場合の学力検査の受験	8
11	合格者の発表	8
12	令和9年度入学者選抜における取扱いについて	9
VII	学力検査による入学者の選抜	9
1	出願資格	9
2	出願手続	9
3	出願に関する留意事項	11
4	出願状況	11
5	受験票について	11
6	選抜の方法	12
7	学力検査の日時及び会場	12
8	合格者の発表	12
9	入学確約書の提出	12
10	令和9年度入学者選抜における取扱いについて	13
VIII	受験上の注意事項	14
IX	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	14
X	問い合わせ先	15
XI	二次募集について	15
XII	学力検査の入試成績の開示について	16
XIII	入学後に必要な経費及び奨学金制度等	17
◎	基本教育目標、卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）、 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） （添付書類）○推薦書 ○調査書	19

令和9年度 学 生 募 集 要 項

I 入学者選抜の基本方針

本校は実践的で創造力に富んだ技術者を養成する5年制一貫教育を特徴とする高等教育機関として、下記に示す「校訓」の下、「基本教育目標」、「卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」に掲げる能力を備えた人材の育成を目指しています。

この目標を達成するため、本校では「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」に適合する者を入学者として求めています。

1 校 訓

「理魂工才」・「自学自習」

2 本校（創造工学科）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

- ・技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
- ・学習意欲が高く、数学、理科、国語、社会、英語の基礎力が備わっている人
- ・何事にも粘り強さと責任感を持って積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- ・「ものづくり」に対する専門的知識を身に付けて、将来、課題解決のために活躍するリーダーとなることを志す人

特に、以下のような人が望ましい。

- ・メカトロニクスやロボットなどのものづくり技術を学びたい人
- ・コンピュータが好きで、インターネットの原理やプログラムのしくみ、それらの応用技術に興味のある人
- ・電気製品のしくみや動作の原理に関心があり、電子工作が好きな人
- ・機械のしくみに興味があり、コンピュータによる設計やものづくりの基礎を習得し、良い製品を作りたい人
- ・生命現象に興味・関心があり、人間と生物と環境が調和した豊かな社会づくりに貢献したい人
- ・化学現象に興味を持ち、身の回りにある材料の性質や働きを学びたい人
- ・資源やエネルギーのことを考え、太陽光発電や燃料電池などのクリーンなエネルギーの創造や利用に関心のある人
- ・デジタル技術を用いて技術的課題を解決する構想力と実践的能力を身につけたい人

以上の本校（創造工学科）の入学者受入方針に基づき、次のような入学者選抜を実施します。

- 推薦による選抜

在籍学校の学業成績が優秀で、積極的に学習意欲が高い者を選抜します。そのため、調査書の評価に加え、面接試験を課します。

- 学力検査による選抜

理科・英語・数学・国語の学力及び在籍（出身）学校の学業成績が優れ、積極的に学習意欲が高い者を選抜します。そのため、学力検査に加え、調査書も評価します。

Ⅱ 募集学科及び募集人員

募 集 学 科	入 学 定 員	推薦入学の募集人員は、入学定員の50%程度（推薦入学者のうち10名を入学時からデジタルデザインコースへ配属※）
創 造 工 学 科	160名	
計	160名	

《※入学時からデジタルデザインコースへの配属を希望する志願者及び在籍学校ご担当者の方へ》

- 「推薦による選抜」において、WEB出願システム入力の際に、デジタルデザインコース配属希望「有」を選択してください（出願後は修正できませんのでご留意願います。）。

なお、在籍学校が提出する「推薦書」にも「デジタルデザインコースへの配属希望」欄がありますので、学校として本人の意思等を確認した上でご選択願います。

- デジタルデザインコースへの配属を希望する志願者が、デジタルデザインコースへの配属から外れた場合は、デジタルデザインコースへの配属を希望しない志願者として、改めて総合判定を行います（合格発表日は同日）。
- 「学力検査による選抜」では入学時からのデジタルデザインコースへの配属は行いません。

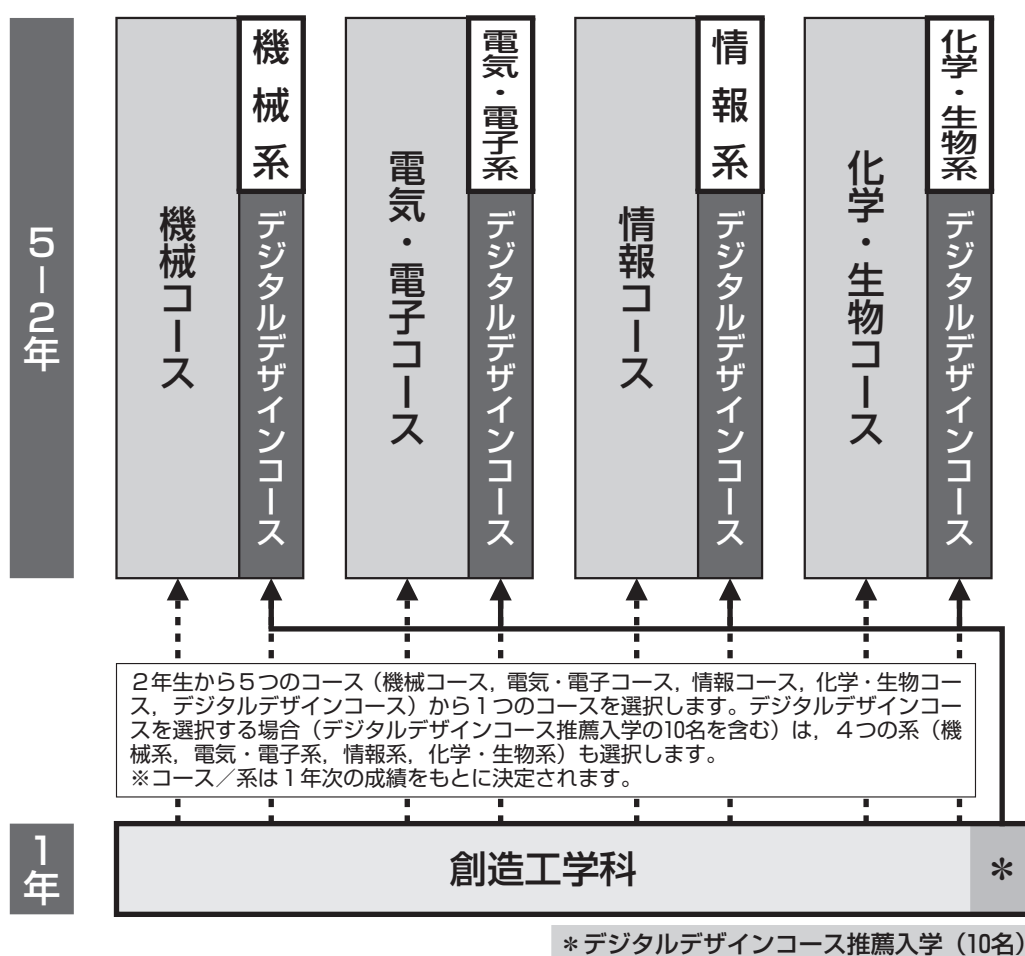
Ⅲ コース／系の選択

1年次学生は全員、創造工学科に所属します。5つのコース（機械コース、電気・電子コース、情報コース、化学・生物コース、デジタルデザインコース）への配属は2年次進級時に行われます（デジタルデザインコース推薦入学者は除く）。デジタルデザインコースについては、4つの系（機械系、電気・電子系、情報系、化学・生物系）も同時に選択します。コース／系（以下、コース等という）配属は、1年次の学

業成績順に学生の希望を聴取して決定されますが、希望のコース等へ配属されないことがあります。

コース定員は、機械コース、電気・電子コース、化学・生物コースが計100名、情報コース40名、デジタルデザインコース20名です。

1年次は、全員が一般科目と各コース等で共通に必要なとされる専門基礎科目を学習します。専門基礎科目の中には、2年次以降に各コース等で学ぶ専門を概観できるガイダンスに相当する授業科目があります。この科目で1年間かけて各コース等の内容を学習し、担任等からきめ細かい指導・助言を受けるとともに2年次のコース等選択のための説明会に参加して、自分に合ったコース等を慎重に考えることができます。



IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「帰国生徒特別選抜」及び「学力検査による選抜」の3つの方法で行います。

（「帰国生徒特別選抜」については、別途本校ホームページに募集要項を掲載しています。）

○ホームページ URL <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

V 出願の流れについて

国立高等専門学校機構では三菱総研DCS株式会社が運営する「miraicompass（ミライコンパス）」というWEB出願（イベント予約含む）システムを用いて出願を受け付けしています。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等をWEB上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の提出をもって出願完了となります。手続きの流れは以下のとおりです。

志願者対応	中学校対応
本校ホームページ 本校ホームページに出願サイトのURLを掲載します。(12月上旬予定)	
WEB出願サイト パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。	
ID (メールアドレス) 登録 (※未登録の方) 学校説明会等に参加する際に既にIDを発行した方は、既存のIDでご利用いただけますが、未登録の方は「はじめての方はこちら」から、メールアドレスをIDとして登録し、パスワードを設定してアカウントを作成してください。	WEB出願登録受付期間前でも手続き可能
WEB出願サイトログイン 作成したアカウントでログインしてください。	
顔写真データアップロード (任意) 志願者の顔写真データをアップロードしてください（デジタルカメラ・スマートフォンで個人撮影した写真も可（出願前3か月以内に撮影した正面向き上半身無帽無背景のもの））。※データでのアップロードはせずに、受験票や写真票を印刷した後に証明写真を貼り付けすることもできます。	
出願情報入力 志願者情報を入力し、入試日程等を選択してください。	WEB出願登録受付期間中
検定料支払方法選択 検定料（16,500円）の支払い方法は、画面の指示に従い、クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM（ペイジー）等からお選びいただけます。（本校窓口での支払いはできません。）なお、支払いの際は別途手数料がかかりますのでご了承ください。	
写真票印刷 検定料支払い後、支払い完了メールが届き、出願サイトのマイページから写真票の印刷が可能となります。ご自宅やコンビニエンスストア等で印刷（A4サイズ・横向き・白紙）し、在籍中学校に提出してください。※郵送の際に使用できる宛名票が、写真票と一緒に印刷されますので、併せて在籍中学校に提出してください。	
出願書類提出 在籍中学校は、志願者から写真票の提出を受けたら、他の書類とあわせて一括して本校に提出してください。（宛名票の使用は任意です。郵送の際は必ず「簡易書留」でお送りください。）	出願書類受付後（締切後3日経過しても印刷できない場合はご連絡ください。）
受験票印刷 - 在籍中学校からの出願書類の提出が完了すると、出願サイトのマイページから受験票の印刷が可能になります。出願締切後3日経っても印刷できない場合はご連絡ください。 - 写真をアップロードしていない場合は、写真票と同一の写真を貼付願います。	
入試当日 受験票を持参のうえ、来校してください。	

※ WEB出願手続きの詳細について、不明な点があれば、以下からご確認ください。

《miraicompass利用ガイド》

<https://www.mirai-compass.jp.net/>



VI 推薦による入学者の選抜

1 出 願 資 格

推薦による入学者の選抜に出願できる者は、下記のすべての条件を満たし、かつ、在籍学校長の責任ある推薦を受けた者としします。

- (1) 中学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 人物が優れており、合格した場合は入学が確約できる者
- (3) 「学習の記録」の評定が、次の条件のいずれかを満たす者

	ア	イ
評定方法	中学校における各教科の評定が5段階の場合	中学校3年間の累積としての各教科の学習成績の総合評定が10段階の場合
推薦基準	次のいずれかに該当する者 ① 9教科の1学年から3学年までの5段階評定合計が98以上の者 ② 5教科（国語，社会，数学，理科，外国語）の2学年から3学年までの5段階評定合計が36以上の者	次のいずれかに該当する者 ① 9教科の評定の合計が65以上の者 ② 5教科（国語，社会，数学，理科，外国語）の評定の合計が36以上の者

※評定方法が「ア」、「イ」以外の場合は、本校学生課教務係へお問い合わせください。

2 出 願 手 続

出願手続は、WEB出願システムにて志願者情報の入力及び検定料（16,500円）の納入を行う「WEB出願登録」と、WEB出願登録により志願者が発行した写真票、在籍中学校で作成する推薦書及び調査書を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。

(1) WEB出願登録受付期間

令和8年12月7日(月)から令和9年1月5日(火) 正午まで

WEB出願サイトのURLについては、12月上旬に本校ホームページ上で公開する予定です。

《鶴岡工業高等専門学校ホームページ（学生募集案内）》

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/nyuushijoho/juken-2/>

(2) 出願書類受付期間

令和8年12月22日(火)から令和9年1月5日(火)まで
(令和8年12月26日(土)から令和9年1月3日(日)を除く)

受付時間は、平日午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合も令和9年1月5日(火)午後5時必着とします。

(3) 出 願 書 類

出願書類は次のとおりです。在籍中学校で取りまとめの上、出願書類受付期間内に提出願います。

① 写 真 票 (発行：志願者)	WEB出願登録完了後に発行される写真票(2部)を切り取ったもの。 顔写真データをアップロードしていない場合は、出願前3か月以内に撮影した4cm×3cmの写真(正面向き上半身無帽無背景)を貼り付けしてください。
② 推 薦 書 (発行：中学校)	本校所定の用紙により、在籍学校長が作成したもの。 入学時からデジタルデザインコースへの配属を希望する場合は、デジタルデザインコースへの配属希望を「有」として選択してください。なお、推薦書提出後の変更はできませんのでご注意ください。
③ 調 査 書 (発行：中学校)	本校所定の用紙により、在籍学校長が作成したもの。

※宛名票(写真票と一緒に印刷される郵送時に封筒に貼る送り先等)については、在籍中学校に提出してください。在籍中学校は出願書類を郵送する際に適宜ご活用ください。

(4) 出願書類等の提出先

〒997-8511
山形県鶴岡市井岡字沢田104
鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係
電話 0235-25-9247・9025

3 出願に関する留意事項

- (1) 出願書類等を郵送する場合は、封筒の表に「出願手続書類在中」と朱書きの上、必ず「簡易書留」でお送りください。(中学校から郵送する際の宛名票の使用は任意です。)

- (2) 本校に入学を志願する者で、令和8年度に、その主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、検定料免除の措置を講じます。詳しくは本校ホームページを参照してください。
- (3) 受理した検定料は、次の場合を除き返還しません。
- WEB出願登録で検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
 - 検定料を重複で納付した場合
- 上記の場合は、本校学生課教務係までご連絡ください。
- (4) WEB出願登録で入力した内容や出願書類等に事実と異なる部分、あるいは不正があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
- a) 入学後の教育・指導
 - b) 入学料の免除・徴収猶予申請の審査
 - c) 自立応援入学支援金申請の審査
 - d) 奨学金申請の審査
 - e) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (6) 出願書類等提出後、現住所に変更があったときは、速やかに郵便又はFAXで本校学生課教務係あて届け出てください。(FAX.0235-25-8195)

4 出 願 状 況

出願書類受付期間中、毎日出願状況を本校ホームページで公表します。

○ホームページ URL <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

5 受験票について

在籍中学校からの出願書類の提出が完了すると、出願サイトのマイページから受験票の印刷が可能になります。1月8日(金)になっても印刷できない場合はご連絡ください。

写真をアップロードしていない場合は、写真票と同一の写真を貼付願います。

入試当日は、受験票を必ず持参してください。

6 選 抜 の 方 法

- (1) 入学者の選抜は、面接及び調査書を総合判定して行います。
- (2) 面接は、個人面接を行います。

7 面接の日時及び会場

(1) 面接日時

令和9年1月16日(土) 午前9時30分～

(受付時間は、午前8時30分から午前9時まで)

(2) 面接会場 鶴岡工業高等専門学校

8 選抜結果の通知

令和9年1月21日(木)に、推薦入学者選抜結果通知書を在籍学校長あて発送します。
また、午後2時に本校ホームページにも合格内定者の受験番号を掲載します。
なお、電話による問い合わせには、一切応じられません。

9 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は、令和9年1月28日(木)までに「入学確約書」を在籍学校長を経て、本校学生課教務係へ提出してください。

10 推薦による選抜に不合格となった場合の学力検査の受験

推薦による選抜に不合格となった場合に、「学力検査による選抜」を希望する者は、WEB出願システムの試験選択画面の「推薦で不合格になった場合の学力検査受験」欄を「希望する」として登録してください。

この場合、出願書類(検定料を含む。)を再度提出しないで受験することができます。

11 合格者の発表

令和9年2月22日(月)午後2時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、入学者選抜結果通知書を在籍学校長あて発送します。

なお、電話による問い合わせには、一切応じられません。

12 令和9年度入学者選抜における取扱いについて

推薦による選抜に出願した者のうち、以下に示す事由に該当し、かつ令和9年1月16日(土)午前9時までに本校学生課教務係へその旨申し出た上で追試験の受験意思を表明した受験者に対し、追試験を実施します。詳細な手続き等については本校に申し出た際にお知らせします。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、推薦による選抜を受験できない場合
- ② 受験者自身の責めに帰することができない理由で推薦による選抜を受験できず、校長がその申請を認めた場合
- ③ 月経随伴症状等の体調不良により、推薦による選抜を受験できない場合

追試験の日程は以下のとおりです。

	日 時
面 接 日	令和9年1月23日(土)
合 格 発 表 日	令和9年1月28日(木) 午後2時
入学確約書提出期限	令和9年2月4日(木) (必着)

Ⅶ 学力検査による入学者の選抜

1 出 願 資 格

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者(令和9年3月卒業見込みの者を含む)
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者(令和9年3月修了見込みの者を含む)
- (3) 義務教育学校を卒業した者(令和9年3月卒業見込みの者を含む)
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者)

2 出 願 手 続

出願手続は、WEB出願システムにて志願者情報の入力及び検定料(16,500円)の納入を行う「WEB出願登録」と、WEB出願登録により志願者が発行した写真票、在籍中学校で作成する調査書を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。

(1) WEB出願登録受付期間

令和9年1月6日(水)から令和9年1月25日(月) 正午まで

WEB出願サイトのURLについては、12月上旬に本校ホームページ上で公開する予定です。

《鶴岡工業高等専門学校ホームページ（学生募集案内）》

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/nyuushijoho/juken-2/>

(2) 出願書類受付期間

令和9年1月19日(火)から令和9年1月25日(月)まで

受付時間は、平日午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合も令和9年1月25日(月)午後5時必着とします。

(3) 出 願 書 類

出願書類は次のとおりです。在籍中学校で取りまとめの上、出願書類受付期間内に提出願います。

① 写 真 票 (発行：志願者)	WEB出願登録完了後に発行される写真票（2部）を切り取ったもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、出願前3か月以内に撮影した4cm×3cmの写真（正面向き上半身無帽無背景）を貼り付けしてください。
② 調 査 書 (発行：中学校)	本校所定の用紙により、在籍学校長が作成したもの。

※宛名票（写真票と一緒に印刷される郵送時に封筒に貼る送り先等）については、在籍中学校に提出してください。在籍中学校は出願書類を郵送する際に適宜ご活用ください。

(4) 出願書類等の提出先

〒997-8511

山形県鶴岡市井岡字沢田104

鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係

電話 0235-25-9247・9025

3 出願に関する留意事項

- (1) 出願書類等を郵送する場合は、封筒の表に「出願手続書類在中」と朱書きの上、必ず「簡易書留」でお送りください。(中学校から郵送する際の宛名票の使用は任意です。)
- (2) 本校に入学を志願する者で、令和8年度に、その主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、検定料免除の措置を講じます。詳しくは本校ホームページを参照してください。
- (3) 受理した検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - WEB出願登録で検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
 - 検定料を重複で納付した場合上記の場合は、本校学生課教務係までご連絡ください。
- (4) WEB出願登録で入力した内容や出願書類等に事実と異なる部分、あるいは不正があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - a) 入学後の教育・指導
 - b) 入学料の免除・徴収猶予申請の審査
 - c) 自立応援入学支援金申請の審査
 - d) 奨学金申請の審査
 - e) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (6) 出願書類等提出後、現住所に変更があったときは、速やかに郵便又はFAXで本校学生課教務係あて届け出てください。(FAX.0235-25-8195)

4 出 願 状 況

出願書類受付期間中、毎日出願状況を本校ホームページで公表します。

○ホームページ URL <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

5 受験票について

在籍中学校からの出願書類の提出が完了すると、出願サイトのマイページから受験票の印刷が可能になります。1月27日(水)になっても印刷できない場合はご連絡ください。

写真をアップロードしていない場合は、写真票と同一の写真を貼付願います。

入試当日は、受験票を必ず持参してください。

6 選抜の方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査及び調査書を総合判定して行います。（「学力検査：調査書」の配点比率「7：3」）
- (2) 学力検査は、理科、英語、数学及び国語の4教科について、マークシート方式で行います。黒鉛筆（HB）を持参してください。
ただし、不測の事態により、学力検査開始時刻の繰り下げ等の措置をとる場合は、記述式で行うことがあります。

7 学力検査の日時及び会場

(1) 学力検査日時

令和9年2月14日(日)	時 間 割			
	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20
	理 科	英 語	数 学	国 語

（受付時間は、午前8時から午前8時50分まで。）

(2) 学力検査会場

鶴岡検査会場	鶴岡工業高等専門学校	鶴岡市井岡字沢田104
山形検査会場	山形大学理学部	山形市小白川町1-4-12

8 合格者の発表

令和9年2月22日(月)午後2時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、入学者選抜結果通知書を在籍（出身）学校長あて発送します。

なお、電話による問い合わせには、一切応じられません。

9 入学確約書の提出

学力検査による選抜の合格者は、令和9年3月1日(月)までに「入学確約書」を在籍学校長を経て、本校学生課教務係へ提出してください。

令和8年3月以前に卒業（修了）した者は、直接本校学生課教務係に提出してください。

入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして、合格を取り消します。

10 令和9年度入学者選抜における取扱いについて

(1) 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。志願者は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する志願者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（下記に記載している本校の「主たる検査会場」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：鶴岡工業高等専門学校学生課教務係

電 話：0235－25－9247

相談期間：令和8年11月2日(月)～令和9年1月22日(金)

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

： <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>

本校の「主たる検査会場」：鶴岡検査会場，山形検査会場



（機構ホームページ）

※「推薦による選抜」，「帰国生徒特別選抜」は，本制度の対象外です。
※事前相談期間締切後については，やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

(2) 学力検査における追試験の実施

学力検査による選抜に出願した者のうち，以下に示す事由に該当し，かつ令和9年2月14日(日)午前9時までに本校学生課教務係へその旨申し出た上で追試験の受験意思を表明した受験者に対し，追試験を実施します。詳細な手続き等については本校に申し出た際にお知らせします。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第十八条に定める感染症に罹患，又は罹患している疑いがあり，学力検査を受験できない場合
- ② 受験者自身の責めに帰することができない理由で学力検査を受験できず，校長がその申請を認めた場合
- ③ 月経随伴症状等の体調不良により，学力検査を受験できない場合

追試験の日程は以下のとおりとし、会場は鶴岡検査会場のみとします。

	日 時
学 力 検 査 日	令和9年2月21日(日)
合 格 発 表 日	令和9年2月26日(金) 午後2時
入学確約書提出期限	令和9年3月4日(木) (必着)

VIII 受験上の注意事項

- 1 受験票を必ず持参してください。
- 2 黒鉛筆（HB）を持参してください。
- 3 計時機能のみをもつ腕時計の持込みはできます。（電子音等が生じないようにすること。）
ただし、計算機能や英語単語表示機能のある腕時計の持込みはできません。
- 4 ペンシルケースに数学の公式、英語単語等の記載してあるものは持込みはできません。
- 5 検査室への通信機（携帯電話、ウェアラブル端末等）の持込みはできません。
- 6 受験票に記載されている注意事項等を熟読してください。
- 7 検査当日、降雪、悪天候等により交通機関に乱れが生じる場合がありますので、時間に遅れないよう注意してください。
- 8 受験に際して宿泊を必要とする場合は、各自手配してください。
- 9 検査会場では、上履きは必要ありません。

IX 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

鶴岡工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ

内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

X 問い合わせ先

鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係	
住 所	〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104
電 話	0235-25-9247・9025
FAX	0235-25-8195
MAIL	kyomu@tsuruoka-nct.ac.jp

XI 二次募集について

定員が充足しなかった場合は、以下の日程で二次募集を行います。

二次募集を行う場合は、1月下旬頃に本校ホームページ上で詳細を周知します。

出願期間：令和9年2月17日(水)～2月24日(水)

選抜期日：令和9年3月1日(月)

合格発表：令和9年3月2日(火)

XII 学力検査の入試成績の開示について

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

1 申 請 者

学力検査による入学者選抜の受験者本人に限ります。（代理人による申請は認められません。）

推薦による入学者選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

2 開 示 内 容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 学科におけるランク

3 申 請 期 間

令和9年3月1日(月)から4月28日(水)までとします。ただし、学力検査による選抜における追試験対象者については、3月8日(月)から4月28日(水)までとします。

（土曜日・日曜日・祝日を除き、9：00～12：00、13：00～16：00）

4 申請に必要な書類

- ① 鶴岡工業高等専門学校入試成績開示申請書
- ② 本校受験票（コピーは不可）
- ③ 返信用封筒（開示通知書送付用。郵送による開示申請の場合のみ。）

長形3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限る。）・氏名を明記の上、定形郵便物（50グラム以下）の簡易書留料金分の切手を貼ってください。

（注）入試成績開示申請書は、令和9年2月19日(金)以降、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

5 申 請 方 法

開示申請をされる際は原則として郵便で申請してください。

また、やむを得ない事情により本校学生課窓口での開示を希望する場合は、事前にご一報の上で来校してください。

なお、郵便での申請の際は、本校の受験票（コピーは不可）と返信用封筒（長形3号）に定形郵便物（50グラム以下）の簡易書留料金分の切手を貼ったものを同封してください。（4月28日（水）消印有効。）

6 開示の方法

受験者本人が来校し学生課窓口で申請した場合には、原則として申請した日に窓口で文書の交付又は閲覧により開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに交付又は閲覧できないことがあります。

郵便により申請した場合には、提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。

7 問い合わせ先

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104 鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係
電話 0235-25-9247・9025

XII 入学後に必要な経費及び奨学金制度等

1 学 費 等

入 学 料	入学時 84,600円	制 服 代	入学時 約75,000円
授 業 料	年 額 234,600円	学 生 会 入 会 金	入学時 1,000円
教 科 書・教 材 費	入学時 約70,000円	学 生 会 費	年 額 7,000円

2 入寮者の必要経費

入 寮 費	入寮時 3,000円	冷 暖 房 費	月 額 4,500円
寄 宿 料	月 額 700円	寮 生 会 入 会 金	入寮時 300円
運営費(年10か月分)	月 額 13,000円	寮 生 会 費	年 額 2,400円
給 食 費	日 額 1,579円		

※ 3～5年生については、入寮希望者多数の場合、入寮選考を行いますので、希望しても入寮できないことがあります。

※ 料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

3 奨学金制度等

(1) 入学料及び授業料減免制度

① 入学料免除制度

入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡した場合、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

② 授業料免除制度

授業料の各期の納付期限前6月以内において、入学する者の学資負担者が死亡した場合、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる場合には選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

③ 高等学校等就学支援金制度（本科1～3年生対象）

国立高等専門学校（第1学年～第3学年）の学生は、家庭の状況にかかわらず、申請手続により就学支援金の対象となり、授業料相当の月額19,550円（年額234,600円）が支給されます。支給期間は、原則として通算36月です。

※学生本人（保護者等）が直接受け取るものではなく、学校が学生本人に代わって支援金を受取り、授業料に充当します。

④ 高等教育の修学支援新制度（本科4年生以上対象）

本科4年生以上を対象に、世帯収入が住民税非課税及びそれに準ずる世帯であって、明確な進路意識と強い学びの意欲を持つ学生を対象に、奨学金の給付及び入学料・授業料減免（入学料は専攻科1年生のみ）が受けられる制度があります。

(2) 奨学金制度

人物・学業共に特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者を対象とした奨学制度として、日本学生支援機構奨学金制度があります。このほか地方公共団体、民間等の奨学金制度があります。

（参考）日本学生支援機構ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

基 本 教 育 目 標

- 1 豊かな人間性と広い視野を持ち，社会人としての倫理を身につける
- 2 あらゆる学習を通じて思考力を鍛え，創造力に富んだ技術者になる
- 3 専門分野の基礎を良く理解し，実際の問題に応用できる能力を培う
- 4 意思伝達及び相互理解のため，十分なコミュニケーション力を養う

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

I. 養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち，人間性と創造性に富み，基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者

II. ディプロマ・ポリシー

1. 創造工学科のディプロマ・ポリシー

養成する人材像をもとに，下記的能力及び姿勢を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定する。

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
- (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
- (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
- (D) 専門分野の知識と情報技術を身につけ，ものづくりに幅広く対応できる実践力
- (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

2. コースのディプロマ・ポリシー

機械コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え，機械コースは，その目標とする人材を育成するため，以下に掲げる能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定する。

- (1) 機械工学に関する体系的な知識と技術
- (2) 機械，メカトロニクス，材料工学等の基盤技術
- (3) 機械，メカトロニクス，材料工学等の視点に立って社会的な役割を理解し，技術的課題を解決する構想力と実践的能力

電気・電子コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え，電気・電子コースは，その目標と

する人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 電気・電子工学に関する体系的な知識と技術
- (2) エレクトロニクス，情報・通信，電気エネルギー等の基盤技術
- (3) エレクトロニクス，情報・通信，電気エネルギー技術の視点に立って社会的な役割を理解し，技術的課題を解決する構想力と実践的能力

情報コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え，情報コースは，その目標とする人材を育成するため，以下に掲げる能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定する。

- (1) 情報工学，システム制御等に関する体系的な知識と技術
- (2) ハードウェア，ソフトウェア，情報通信技術，制御工学等の基盤技術
- (3) ハードウェア，ソフトウェア，情報通信技術，制御工学等の視点に立って社会的な役割を理解し，技術的課題を解決する構想力と実践的能力

化学・生物コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え，化学・生物コースは，その目標とする人材を育成するため，以下に掲げる能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定する。

- (1) 化学，生物学に関する体系的な知識と技術
- (2) 物質・材料，生物学等の基盤技術
- (3) 物質・材料，生物学等の視点に立って社会的な役割を理解し，技術的課題を解決する構想力と実践的能力

デジタルデザインコース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え，デジタルデザインコースは，その目標とする人材を育成するため，以下に掲げる能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して，卒業を認定する。

- (1) デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術（機械，電気電子，情報），化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と技術
- (2) デジタル・リベラルアーツを主軸とした機械，メカトロニクス，材料工学，エレクトロニクス，情報・通信，電気エネルギー，ハードウェア，ソフトウェア，情報通信技術，制御工学，物質・材料，生物学等による基盤技術
- (3) 機械，メカトロニクス，材料工学，エレクトロニクス，情報・通信，電気エネルギー，ハードウェア，ソフトウェア，情報通信技術，制御工学，物質・材料，生物学のいずれかの視点に立って社会的な役割を理解し，データサイエンス，AIなどを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

1 カリキュラムの編成方針

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、5年一貫の教育課程において一般科目、専門科目を適切に配置し、創造性豊かな技術者、研究者として将来活躍するための知識及び技術を習得できるように体系的に教育課程を編成します。

(1) 創造工学科のカリキュラム・ポリシー

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力を身につけるため、グループワークを取り入れた科目や卒業研究などを編成しています。
- (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を身につけるため、数学、物理、化学、生物に関する科目を編成しています。
- (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、国語、英語、第二外国語に関する科目を編成しています。
- (D) 専門分野の知識と情報技術、ものづくりに幅広く対応できる能力を身につけるため、専門基礎、情報処理、実験・実習などの科目を編成しています。
- (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につけるため、人文社会に関する科目を編成しています。

(2) 専門コースのカリキュラム・ポリシー

各専門コースでは、専門分野の知識と技術を身につけるため、以下の方針に従ってカリキュラムを編成しています。

【機械コース】

機械工学分野の専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なデザイン工学分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【電気・電子コース】

電気電子分野の専門知識と技術を身につけるため、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギーに関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なエレクトロニクス分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【情報コース】

情報工学分野の専門知識と技術を身につけるため、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なITソフトウェア分野、メカトロニクス分野にも適用します。

【化学・生物コース】

化学・生物分野の専門知識と技術を身につけるため、物質・材料、生物工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能な環境バイオ分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【デジタルデザインコース】

デジタル・リベラルアーツを主軸とし、工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかの専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかに関連したデータサイエンス、AIなどを活用した授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

2 学習方法・学習内容に関する方針

編成した教育課程を通じて学修成果が効果的に得られるよう、低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特徴を活かし、講義、演習、実験・実習による授業を実施します。専門知識の定着と活用力を涵養するため、アクティブ・ラーニング型の授業を行います。

3 学修成果の評価

全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価しています。従って、各科目の合格により、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を身につけたと見なされます。

受験番号	※ 6 9 -
------	------------

推 薦 書

令和 年 月 日

鶴岡工業高等専門学校長 殿

学 校 名

校長氏名

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校において十分な学業を修め
得る者と確信しますので推薦いたします。

記

1 令和 年 月 日 卒業（修了）見込み

2 氏 名

3 生年月日 平成 年 月 日生

4 デジタルデザインコースへの配属希望 有 ・ 無
(該当するほうを○で囲んでください。)

※印欄は記入しないでください。

令和9年度 鶴岡工業高等専門学校入学志願者調査書

受験番号

※ 6 9 -

☐ 鶴 岡

☐ 山 形

☐ 最寄り地等 ()

評価方法	☐ 5段階 ☐ 10段階	希望の選抜方法	☐ 推 薦 ☐ 学 力	学力検査受験地						
ふりがな			性 別	現 住 所						
氏 名										
生年月日	平 成 年 月 日生	卒 業 (卒業見込) 年 月	平 成 年 月 日	卒 業 (修了) 卒 業 (修了) 見込						
1 各 教 科 の 学 習 の 記 録	教科	第3学年の観点別学習状況	各学年の評定			内 容 等	活 動 の 状 況			
		観 点	1	2	3					
	国 語	知識・技能						3 特 別 活 動 等 の 記 録	学 級 活 動	
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
	社 会	知識・技能							生 徒 会 活 動	
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
	数 学	知識・技能							学 校 行 事	
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
	理 科	知識・技能							そ の 他 の 活 動	
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
	音 楽	知識・技能						4 校 外 活 動 の 記 録	ス ポー ツ 活 動 文 化 活 動 社 会 奉 仕 活 動 等	
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
	美 術	知識・技能						5 特 記 事 項		
		思考・判断・表現								
		主体的に学習に取り組む態度								
保 健 体 育	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
技 術 ・ 家 庭	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
外 国 語	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
	国語，社会，数学，理科，外国語の 各学年の評定合計					この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する。	令 和 年 月 日			
	全ての教科の各学年の評定合計									
	国語，社会，数学，理科，外国語の 2学年から3学年までの評定合計									
	全ての教科の評定総計									
2 時 間 的 な 学 習 の 記 録						学 校 名				
						校 長 名	印			

◎裏面以降の注意事項・記入要領を熟読してから，記入してください。

注意事項

- 1 ※印欄は記入しないでください。
- 2 「評定方法」欄について、該当するものの左側の□にチェックマークを記入してください。
なお、それ以外の評定をしている場合は、本校学生課教務係（☎0235-25-9247・9025）と打ち合わせのうえ記入してください。
- 3 本校のホームページから調査書の様式をダウンロードできます。
- 4 希望する選抜方法の左側の□にチェックマークを記入してください。
また、推薦選抜入学志願者で、不合格となった場合の学力検査受験を希望する者は、「学力」の左側及び「学力検査受験地」のいずれかの□にもチェックマークを記入してください。
- 5 上記について、□にチェックマークを記入する代わりに、□を黒く塗りつぶしてもかまいません。

記入要領

氏名・生年月日・性別・現住所は、中学校生徒指導要録に記載されているものを転記する。
ただし、令和7年度以前の卒業者については、現住所は入学願書と一致するものとする。

卒業等は該当するものを○で囲む。デジタル様式の場合は○で囲むのではなく、不要なものを削除し必要なもののみ記載する方法でもよい。

1 「各教科の学習の記録」

- (1) 第1・第2学年の各教科の評定は、生徒指導要録に記載された記録を記入する。
- (2) 第3学年の各教科の評定は、令和8年12月末日現在までの成績を総合して行う。なお、教科の評定は、中学校生徒指導要録に合わせて目標に準拠した評価によって行う。
- (3) 各教科の評定及び合計については、調査書と成績一覧表との間に不一致が生じないよう、各中学校において十分な校合を行い、万全を期すること。
- (4) 次の場合は、第3学年の評定を5段階で朱書する。なお、評定合計も朱書する。
 - ① 特別支援学校及び特別支援学級在籍者
 - ② 令和7年度以前の卒業者
- (5) 特別支援学校及び特別支援学級在籍者で、一部の教科で評定がつかない場合には、その教科についての学習状況を記載したものを、別添で提出する。

2 「総合的な学習の時間の記録」

入学志願者の特徴的な学習活動や評価を中心に端的に記述する。（学年については限定しない。1つの学年分の記載でもよい。）

3 「特別活動等の記録」

学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動について、具体的な活動の事実に基づいて簡条書きで記載する。なお、その他の活動には、部活動等を含める。

（記入例）

学級活動

- ・ 2年時議長
- ・ 3年時生活係

生徒会活動

- ・ 2年時放送委員
- ・ 3年時文化祭実行委員

学校行事

- ・ 1 年時新入生代表挨拶（入学式）
- ・ 2 年時送辞担当（卒業式）
- ・ 2， 3 年時ピアノ伴奏（卒業式，合唱コンクール）
- ・ 3 年時応援団長（運動会）

その他の活動

- ・ 2 年時絵画部
- ・ 3 年時県中学校対抗駅伝大会優勝（第 5 走者）
- ・ 3 年間科学部 3 年時文部科学大臣奨励賞（△△コンクール）

4 「校外活動の記録」

上記の特別活動等の記録以外に，校外や地域におけるスポーツ活動，文化活動，社会奉仕活動等に関して顕著な活動，記録，表彰等の事実があれば記入する。

（記入例）

- ・ 地域の子供会の指導補助員（3 年間）
- ・ 2 年時〇〇主催「音楽コンクール」東北大会ピアノの部優秀賞

5 「特記事項」

上記以外のことで特に必要な事項について記入する。

（記入内容）

- ・ 転入学，編入学に関する事項（年月日含む）
- ・ 健康管理上配慮した事項
- ・ 学習指導上配慮した事項
- ・ 資格，検定試験に関する事項

6 その他

- （1）誤記を訂正する場合は，旧記入事項に青色又は黒色で 2 本線を引き，訂正事項をその上部に記入し，訂正者の認印を 2 本線上に押す。
- （2）記入する事項のない欄は，次のように記入する。
 - ①特別支援学校及び特別支援学級在籍者の「1 各教科の学習の記録」の「各学年の評定」については，右上がりの斜線を引く。
 - ②上記①以外の欄は，「記載事項なし」と記入する。
- （3）義務教育学校においては，第 1・2・3 学年を第 7・8・9 学年と表記する。

検査会場案内図

◎鶴岡検査会場（鶴岡工業高等専門学校）



◎ J R 鶴岡駅下車 約5.5km

- ① 庄内交通バス湯田川温泉行きで20分
国立高専前下車
- ② タクシーで約15分

◎山形検査会場（山形大学理学部）



◎ J R 山形駅下車 約 2 km

- ① 山交バス県庁行きで約 6 分
南高前山大入口下車 徒歩10分
- ② タクシーで約10分